

事務事業名		ウォーキング普及推進事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	25	終了	
H27担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H27係等名	スポーツ振興係			H26係等名		スポーツ振興係				
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり										
		施策	26	スポーツの振興										
目的	対象(誰・何を)	市民			対象指標	指標名及び単位			26年度数値					
	意図(どうい状態にするか)	日常生活の中にウォーキングを習慣化してもらう				飯田市の人口(人)			102446					
	向上させたい上位施策の成果指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	市内ウォーキング関連事業数(保健課・公民館事業を含み、やまびこマーチ関連事業を除く)			20	29	22	22						
	成果指標	市内ウォーキング関連事業への参加者数(保健課・公民館事業を含み、やまびこマーチ関連事業を除く)			2300	2022	2300	2300						
定性目標														
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民対象のウォーキング講座やウォーキング指導者育成講座を実施し、市民へのウォーキング普及を図る。 公民館や保健課、まちづくり委員会、ウォーキング関係団体などが主催するウォーキング事業を市民に情報発信を行う。 保健課、公民館、スポーツ推進委員と連携し、地区単位のウォーキング普及を図る。 各団体等で行われているウォーキング事業への参加促進を行うことを通して、日常的なウォーキングへのきっかけとする。 													
事業内容					名称			活動指標						
26年度事業内容	1 ウォーキング講座 市民を対象としたウォーキング講座及びウォーキング指導者講座の実施				1 開催回数			1 5回						
	2 各地区でのウォーキング講習会開催の推進 スポーツ推進委員と連携し、各地区でのウォーキング講習会開催を推進し、市民が習慣的にウォーキングを取り組むきっかけとする。				参加人数			154名						
	3 情報発信 広報いいた及び飯田市ホームページへの掲載				2 開催回数			2 16回						
	4 ウォーキング促進 各地区・団体等で行われているウォーキング事業への参加促進のため、スタンプラリーを行う。				参加人数			424名						
				3 掲載回数			3 4回							
				4 登録事業数			4 19事業							
				応募人数			126名							
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		0	0	0	0									
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他														
一般財源														
人件費計(千円)②		93		93										
正規職員所要時間		26		26										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		93	0	93	0									
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 全市民対象のウォーキング講座を実施し、市民の日常生活へのウォーキングの普及を図った。 スポーツ推進委員、公民館長、体育部長を対象にしたウォーキング講座を開催した。併せて、ウォーキング指導マニュアルを更新し、各地区でウォーキング講座を開催するための環境を整えた。 													
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> 地区によってはウォーキング関連事業を実施していない地区もあり、公民館や保健課を通じた地区への働きかけが必要。 ウォーキングイベントなどに参加した人が、その後に習慣的な運動として定着していない場合が多い。 												
	②改革提案	<ul style="list-style-type: none"> 各地区のスポーツ推進委員、公民館委員と情報交換の機会をもち、各地区のウォーキング事業実施の現状や課題を共有することで、ウォーキング講座等の新規実施や、より参加しやすい開催などへ繋げていく。 ウォーキングの定期教室を開催し、ウォーキングを継続することでの成果をわかりやすく示すことで、習慣的な取り組みに繋げていく。 												